

# 第156回 染色体研究会プログラム

日時:2013年12月14日(土) 15:00~17:30

会場:東京医科大学病院 第1研究教育棟4階 第2講堂

## 1. 特別講演 (15:00~16:10)

演題:遺伝性・先天性を持つ人たちを診療し、支援する側から日本の出生前診断を考える  
~18トリソミーの臨床研究と信州 NIPT ワーキングの取り組みを通じて~  
講師:古庄 知己(信州大学医学部附属病院 遺伝子診療部)

## 2. 教育講演 (16:20~17:00)

演題:日本の出生前診断はどこへ向かうのか?  
~本年開始されたNIPT(母体血での新型出生前診断)の実施状況から見えるもの~  
講師:平原 史樹(横浜市立大学医学部 産婦人科学教室)

## 3. 症例検討 (17:00~17:30)

1. 演題:Wolf-Hirschhorn 症候群における 4p 欠失の多様性と表現型との関連  
(清水健司 埼玉県立小児医療センター 遺伝科)
2. 演題:家族性異常を疑う際の報告書記載について  
(平松太一 ㈱保健科学研究所・特殊分析センター)

## 4. 懇親会 (18:00~20:00)

会場:染色体研究会会場の近く予定しております。

参加費:3000~3500円

懇親会参加希望の方は、事前に受付しております。事務局までお申し込み下さい。  
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

染色体研究会 2013年幹事世話人  
涌井 敬子(信州大学医学部 遺伝医学・予防医学講座)  
〒390-8621  
長野県松本市旭 3-1-1

会員関係のお問い合わせは・・・

染色体研究会事務局:神奈川県立こども医療センター 遺伝科内 担当:江良  
〒232-8555 横浜市南区六ッ川 2-138-4  
TEL:045-711-2351 FAX:045-742-7821  
E-mail: iden[at]kcmc.jp (メールアドレスは【at】を@に変換して送信下さい。)

— 臨床遺伝専門医制度委員会からのお知らせ —

臨床遺伝専門医更新 認定単位を2013年4月1日以降、染色体研究会 3単位 と致します。